



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月30日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6794 URL https://www.foster.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉澤 博三  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	108,652	△21.8	3,620	△58.2	4,013	△53.8	△2,020	-
2018年3月期第3四半期	138,946	17.8	8,662	795.9	8,695	828.9	6,033	-

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 △1,416百万円 (-%) 2018年3月期第3四半期 7,485百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	△81.04	-
2018年3月期第3四半期	234.51	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	93,604	59,436	58.2	2,409.99
2018年3月期	100,870	66,792	61.5	2,412.06

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 54,483百万円 2018年3月期 62,061百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	20.00	-	35.00	55.00
2019年3月期	-	10.00	-	-	-
2019年3月期(予想)	-	-	-	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	△24.2	4,000	△57.0	4,000	△55.9	△2,200	-	△90.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	26,931,051株	2018年3月期	26,931,051株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	4,323,692株	2018年3月期	1,201,449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	24,927,851株	2018年3月期3Q	25,729,709株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日)における世界経済は、先進国を中心に緩やかな拡大が続きましたが、下半期に入り米中貿易摩擦の深刻化や中国経済の減速懸念等により先行き不透明感が高まりました。

当社グループが属する電子機器・電子部品業界においては、車載向け部品需要が概ね堅調に推移した一方で、スマートフォン向け部品需要の成長鈍化が鮮明になってきました。

当社グループにおいては、主要顧客向けヘッドセットの販売数量及び価格が低下し、非常に厳しい事業環境となってきました。これに対して、当社グループは、ベトナム地域で早期退職者を募集し、また減損により固定資産を圧縮する等、最適な生産体制の再構築に取り組みました。また、車載向け製品事業を今後の事業の軸とすべく組織体制を強化しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、108,652百万円(前年同期比21.8%減)、営業利益は3,620百万円(前年同期比58.2%減)、経常利益は4,013百万円(前年同期比53.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,020百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益6,033百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[スピーカ事業]

車載用スピーカ・スピーカシステムは、一部顧客のプレミアムブランド向け製品の販売数量が減少した結果、売上高が52,719百万円(前年同期比5.6%減)、営業利益が3,365百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

[モバイルオーディオ事業]

主要顧客向けヘッドセットの販売数量及び価格が低下したことから、売上高が51,348百万円(前年同期比34.8%減)、営業損失が、19百万円(前年同期は営業利益4,271百万円)となりました。

[その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他の売上高は、4,721百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益は273百万円(前年同期比37.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末に比べ7,266百万円減少して93,604百万円となりました。負債は、主に借入金の増加により前連結会計年度末に比べ91百万円増加して34,168百万円となりました。純資産は、主に自己株式の増加により前連結会計年度末に比べ7,356百万円減少して59,436百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比3.3ポイント減の58.2%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより16,167百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,016百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、たな卸資産の増減額が9,398百万円減少となったこと等により10,990百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により2,687百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、自己株式の取得等により2,157百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向に鑑み業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	9,704	15,255
受取手形及び売掛金	21,744	21,864
電子記録債権	499	310
有価証券	2,310	2,473
製品	26,582	21,328
原材料	7,972	5,152
仕掛品	2,075	1,174
貯蔵品	425	274
短期貸付金	0	0
未収入金	841	690
その他	1,473	1,767
貸倒引当金	△15	△28
<b>流動資産合計</b>	<b>73,614</b>	<b>70,263</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	9,717	9,233
機械装置及び運搬具（純額）	6,515	4,432
工具、器具及び備品（純額）	3,056	2,814
土地	1,151	886
建設仮勘定	679	991
<b>有形固定資産合計</b>	<b>21,120</b>	<b>18,357</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	307	215
借地権	816	765
その他	176	158
<b>無形固定資産合計</b>	<b>1,300</b>	<b>1,139</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,743	2,313
長期貸付金	30	30
長期前払費用	543	161
退職給付に係る資産	778	780
繰延税金資産	439	249
その他	309	309
貸倒引当金	△9	—
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>4,835</b>	<b>3,844</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>27,255</b>	<b>23,340</b>
<b>資産合計</b>	<b>100,870</b>	<b>93,604</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,053	9,184
電子記録債務	60	—
短期借入金	3,353	3,090
1年内返済予定の長期借入金	1,250	6,863
未払金	4,316	3,320
未払法人税等	627	688
未払費用	1,946	2,001
賞与引当金	693	804
その他	651	833
流動負債合計	25,953	26,788
固定負債		
長期借入金	7,098	5,455
繰延税金負債	422	1,196
退職給付に係る負債	140	226
役員退職慰労引当金	8	11
株式給付引当金	46	80
資産除去債務	240	243
その他	169	165
固定負債合計	8,124	7,380
負債合計	34,077	34,168
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	9,394	9,394
利益剰余金	48,068	44,819
自己株式	△2,156	△6,655
株主資本合計	62,077	54,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	776	563
為替換算調整勘定	△410	△51
退職給付に係る調整累計額	△382	△357
その他の包括利益累計額合計	△15	154
非支配株主持分	4,731	4,952
純資産合計	66,792	59,436
負債純資産合計	100,870	93,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	138,946	108,652
売上原価	119,389	94,922
売上総利益	19,557	13,729
販売費及び一般管理費	10,894	10,109
営業利益	8,662	3,620
営業外収益		
受取利息	67	103
受取配当金	27	35
為替差益	100	292
雑収入	423	325
営業外収益合計	618	757
営業外費用		
支払利息	173	149
雑損失	411	214
営業外費用合計	584	364
経常利益	8,695	4,013
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
減損損失	165	2,401
特別退職金	—	1,235
特別損失合計	165	3,636
税金等調整前四半期純利益	8,529	376
法人税、住民税及び事業税	1,711	836
法人税等調整額	389	1,013
法人税等合計	2,101	1,849
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,428	△1,473
非支配株主に帰属する四半期純利益	394	547
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	6,033	△2,020

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,428	△1,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192	△213
為替換算調整勘定	852	242
退職給付に係る調整額	11	27
その他の包括利益合計	1,057	56
四半期包括利益	7,485	△1,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,105	△1,849
非支配株主に係る四半期包括利益	380	433



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,529	376
減価償却費	6,159	3,552
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△32	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34	80
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△44	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26	12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	515	108
減損損失	165	2,401
特別退職金	—	1,235
受取利息及び受取配当金	△94	△139
支払利息	173	149
為替差損益 (△は益)	16	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,113	△44
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,807	9,398
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,401	△4,206
未収入金の増減額 (△は増加)	247	130
未払金の増減額 (△は減少)	275	△485
その他	819	442
小計	7,221	13,029
利息及び配当金の受取額	94	139
利息の支払額	△173	△149
特別退職金の支払額	—	△1,182
法人税等の支払額	△1,758	△846
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,383	10,990
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△1,258	△1,683
有価証券の償還による収入	193	2,077
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△4,362	△2,802
無形固定資産の取得による支出	△102	△99
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△120
短期貸付金の増減額 (△は増加)	2	0
長期貸付けによる支出	△1	△4
長期貸付金の回収による収入	6	5
長期前払費用の取得による支出	△191	△28
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△261	—
その他	△0	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,976	△2,687
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	427	△278
長期借入れによる収入	368	5,175
長期借入金の返済による支出	△1,013	△1,249
配当金の支払額	△1,160	△1,154
非支配株主への配当金の支払額	△150	△149
自己株式の取得による支出	△0	△4,499
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,528	△2,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	97	△128
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,023	6,016
現金及び現金同等物の期首残高	12,037	10,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,013	16,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年8月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,122,500株の取得を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が4,499百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が6,655百万円となっております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	55,825	78,746	4,374	138,946	—	138,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	62	62	△62	—
計	55,825	78,746	4,436	139,008	△62	138,946
セグメント利益	3,954	4,271	437	8,662	△0	8,662

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、遊休資産に係る固定資産の減損損失を165百万円計上しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	52,719	51,348	4,583	108,652	—	108,652
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	137	137	△137	—
計	52,719	51,348	4,721	108,789	△137	108,652
セグメント利益	3,365	△19	273	3,620	0	3,620

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を2,091百万円計上しています。